

令和5年1月25日、西牧大使は同日午後に令和3年度草の根無償資金協力案件「ザンベジ州シビンダ地区マルンドゥ前期小学校教室建設計画」の引渡式出席を終えた後、翌26日の令和4年度草の根無償資金協力案件「ザンベジ州カッベ南地区インパリラ小中併設校教室建設計画」の贈与契約署名式及び起工式の打ち合わせを兼ねて、ニポンドカ(Hon.Ms.Ester Annna Nghipondoka)教育大臣、サンポフ(Hon.Mr.Lawrence Sampofu)ザンベジ州知事、カワナ(Mr.Jpseph Kawana)ザンベジ州教育局長、リカンド(Prof.Gilbert Likando)ナミビア大学教授など草の根無償協力案件関係者を招待して夕食会を主催し、様々な意見交換を行いました。

西牧大使から「これまでに日本政府は草の根無償協力の枠組みでナミビア国内に300以上の教室を建設した他、青年協力隊員も158名派遣してきている」などと説明したところニポンドカ教育大臣は、「日本の支援には大変感謝している。ナミビア政府としては教育への予算配分も増やしてきているが、人口増もあり、限られた予算では政府としての対応が追いついていないのが実情である」旨述べました。



西牧大使(左)から広報グッズを贈呈されるニポンドカ教育・文化・芸術大臣(右)



日本政府によるFAO経由の農業案件で作成された広報グッズ(日本の支援を示す日本国旗が刺繍されている)